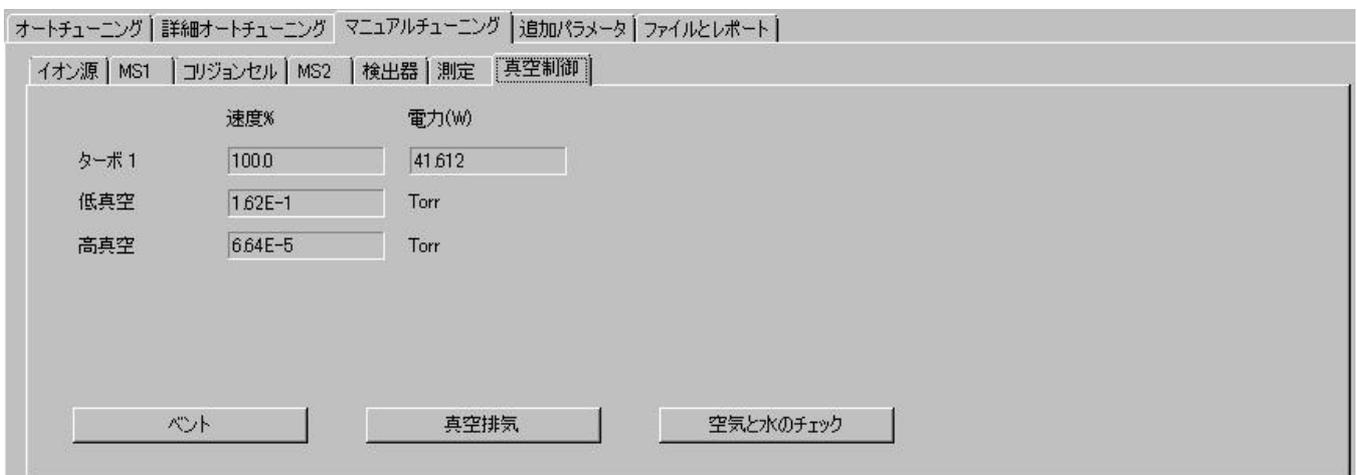


停止手順

- GC の温度を下げるメソッド (Cooldown.M など) を作ってある場合は、それを読み込みます。
ない場合は新たに作成するか、次回の装置立ち上げ時に読み込みたいメソッドを一旦読み込んでおき、GC のキーボードから [Oven]・[Inlet]・[AUX] などのキーを押して、直接低い値を入力します。
- 機器コントロールウィンドウ内のチューニングアイコンをクリックします。



- [マニュアルチューニング] タブを選択し、さらにその中の [真空制御] タブを選択します。



- [ベント] ボタンを押します。
- 次のようなメッセージが出ますので、まだ GC のオープン温度や注入口温度、インターフェース温度 (AUX2) に高い設定値が入ったままの場合は、GC のキーボードを使って低い値を入力するか、OFF にします。



ご不明な点は、カスタムコンタクトセンタまで (電話受付 9:00~12:00、13:00~18:00 土、日、祝日は除きます)

電話  0120-477-111

E-mail: email_japan@agilent.com

FAX  0120-565-154

<http://www.agilent.com/chem/jp>

6. OK ボタンを押すとベントウィンドウが表示されます。



ベント 開始したサイクル: 2009/12/18 11:44:02
経過時間: 2 秒

	実測	設定	
ターボ 1 速度	96.6	< 20	%
ターボ 1 電力	1.319	----	W
低真空	1.61E-1	----	Torr
高真空	OFF	----	Torr
イオン源温度	207	< 100	°C
MS 1 ヒーター	139	< 100	°C
MS 2 ヒーター	139	< 100	°C

ステータス ベント中

閉じる(C)

7. ターボポンプ(以下 TP とします)と MS アナライザ一部のヒーターは OFF となり、それぞれ数値が下がっていきます。

TP の回転数が 20%未満に、またイオン源、MS1、MS2 のヒーター温度が 100 度未満になるとベントウィンドウのステータスは緑色の Ready に変わります。

途中で TP が 20%未満になると、ステータスは赤色の Vented に変わり、さらに 5 分程するとロータリーポンプが止まります。



ベント 開始したサイクル: 2009/12/18 11:46:22
経過時間: 23 分 43 秒

	実測	設定	
ターボ 1 速度	1.8	< 20	%
ターボ 1 電力	1.319	----	W
低真空	2.10E-1	----	Torr
高真空	OFF	----	Torr
イオン源温度	94	< 100	°C
MS 1 ヒーター	93	< 100	°C
MS 2 ヒーター	95	< 100	°C

ステータス Ready

閉じる(C)

ご不明な点は、カスタムコンタクトセンタまで(電話受付 9:00~12:00、13:00~18:00 土、日、祝日は除きます)

電話  0120-477-111

E-mail: email_japan@agilent.com

FAX  0120-565-154

<http://www.agilent.com/chem/jp>



8. ステータスが Ready になったら、[閉じる]ボタンを押して、ベントウィンドウを閉じます。

9. 続いて、チューンウィンドウの[閉じる]ボタンを押します。

注意！ チューンウィンドウを閉じると、クールダウン用のメソッドやチューニングファイルを読み込んでいない場合は、GC や MS のヒーターが再び ON となって温度が上がります。この場合は温度が上がらないように手順 12 まで素早く作業をお願いします。

10. 測定用ソフトウェアを終了します。

11. MS の電源スイッチを OFF にします。

12. GC の電源スイッチを OFF にします。

13. PC をシャットダウンします。

14. 完全に装置を止める場合は、He ガス、N₂ ガスのポンベのコックを閉める、または GC への配管接続口の手前にあるストップコックを閉じます。

ご不明な点は、カスタムコンタクトセンタまで(電話受付 9:00~12:00、13:00~18:00 土、日、祝日は除きます)

電話  0120-477-111

E-mail: email_japan@agilent.com

FAX  0120-565-154

<http://www.agilent.com/chem/jp>